

## 施設評価シート（一般）

（平成22年度事業）

施設名	備前市加子浦歴史文化館	問	担当課（室）	生涯学習課		
		合	職・氏名	係長 石井 啓		
		先	電話	0869-72-9026		
所在地	備前市日生町日生801-4	所属長職・氏名	課長 末長 章彦			
		このシート作成に要した時間		5.0 時間		
建物建設費	237,898 千円	財源	国県等補助金	31,500 千円	建設年月	9 年 10 月
			市債・一般財源等	206,398 千円	耐用年数	50 年

根拠法令等の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	名称	備前市加子浦歴史文化館			
総合計画上の位置付け	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり	基本施策	03	歴史と文化の輝くまちづくり
	施策	01	文化芸術の振興	事務事業名	01	加子浦歴史文化館管理運営事業

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？）					
	市内外を問わず、小学生・中学生・高校生・大学生等、また生涯学習をしようとするひと、歴史研究家・郷土史研究家（愛好家）・文学研究家・観光客・資料寄託者・資料寄贈者。					
目的	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？）					
	郷土に関する歴史・民俗・文芸資料の収集と保存につとめ、それらを後世に伝え、遺す。で収集した資料をもとに常設・企画展を行い、当館利用者の文化的向上と調査向上の一助となることを目的とする。					
施設内容 規模 料金体系	施設内容	規 模	料金体系（直近の改定：平成 年 月）			
	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ2階建 地下1階	延べ床面積 301.58㎡	入館料 大人200円 小人100円			
	展示室	約30人収容				
	資料館 木造2階建	延べ床面積240.67㎡	使用料 1室につき1時間200円			
	学習室	約40人収容				
	蔵	延べ床面積25.88㎡	使用料 1時間500円			
茶室	延べ床面積9.8㎡					
管理運営方法	<input type="radio"/> 指定管理者制度導入 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> すべて直営		（指定管理者名 又は 一部委託の内容）			
類似施設の状況	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 本市所管 <input type="checkbox"/> 近隣市町、民間その他		（施設名及び施設の概要） 備前市歴史民俗資料館・吉永町美術館			

経費	項 目		平成20年度実績		平成21年度実績		平成22年度実績		単位
	費	人件費	正規職員	1.0 人	5,820	0.9 人	5,177	0.8 人	
臨時職員			人		人		人		人/千円
指定管理料									千円
維持補修費				142		150		149	千円
物件費				3,579		4,442		4,604	千円
その他（ ）				495		340		310	千円
減価償却費				3,715		3,715		3,715	千円
合 計				<b>13,751</b>		<b>13,824</b>		<b>14,762</b>	千円
財源	特定財源	使用料		527		540		483	千円
		その他				19		14	千円
	一般財源		<b>13,224</b>		<b>13,265</b>		<b>14,265</b>		千円
指定管理者の利用料金収入等									千円
年間利用者数				3,103		3,159		3,324	人
利用者1人当たりコスト（一般財源）				4,262		4,199		4,292	円
受益者負担率				3.8%		3.9%		3.3%	%

稼 動 実 績	平成22年度 (単位:日,人)													
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開館日数	25	25	25	27	26	25	27	26	23	24	23	26	302
	加子浦歴史文化館	177	174	126	182	286	301	329	670	284	232	312	251	3,324
	学習室	利用者数等		9					25					34
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												

施 設 の 妥 当 性	社会・経済情勢の変化等により、施設のニーズが薄れていないか？		
	<input checked="" type="radio"/> 薄れていない <input type="radio"/> 薄れている	判断理由	景気の非常な悪化にもかかわらず、施設利用者は昨年と比べ、弱冠増えている。
	そもそも市が設置・運営すべき施設か？		
	<input checked="" type="radio"/> 設置すべきである <input type="radio"/> 必ずしも設置する必要はない	判断理由	営利を目的としない、文化の発信元としての文化施設は、公営でなければ成り立たない。
性	施設を廃止した場合の市民生活への影響は？		
	<input checked="" type="radio"/> 影響が大きい <input type="radio"/> 影響はさほどない	判断理由	先人の築いた郷土の歴史を記録し、現代にそれを生かす知恵や郷土愛への目覚めをもたらす施設の廃止は、地元ならではの貴重な文化を失うことである。

施 設 の 効 率 性	施設の利用状況は順調か？		
	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 順調でない	判断理由	文化施設離れの風潮が著しいが、施設利用者の数は弱冠増えた。
	受益者負担は適正か？(施設の性質別に設定されている負担割合と比べてどうか)		
	<input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由	近隣の類似施設の入館料と比べ大差はない、値上げをすると確実に利用者は減少する。
	類似施設との統合可能性はあるか？		
	<input type="radio"/> 統合は可能 <input checked="" type="radio"/> 統合は不可能	判断理由	日生の歴史や地域性は、市内の他の類似施設と比べ、独自性が高い。
性	管理運営に係るコストを削減する余地はあるか？		
	<input type="radio"/> 削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	判断理由	これ以上の節約は、考えられない。

平成23年度の状況及び管理運営の改善案	東日本大震災の影響で、観光客が激減しており、入館者数も大幅に減少することが予想される。現に4月は昨年にくらべて60人ほど減少している。この打開策としては、人の興味をひく企画をすること、周知を徹底して行うことしかないが、市運営の埋蔵文化財管理センターのオープンに連動し、人気の高かった焼物講座を開講して、施設利用者の減少を少しでも挽回する努力をする。報道関係者と連携できるような、良好な関係をつくることを模索する。
---------------------	--

施設修繕・大規模改修費用(今後5年間:平成24年度から平成28年度)					
毎年経常的に必要な修繕費	内 容	金額(千円)	今後5年間に必要となる大規模改修費	内 容	金額(千円)
	漏水や台風被害に備えて	150		文芸館天井の修繕	1,000

判 定	<input type="checkbox"/> 廃止・閉鎖が可能 <input type="checkbox"/> 類似施設との統合が可能 <input type="checkbox"/> 民間又は地域等への譲渡が可能 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度の導入が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい	判 定 理 由	類似の文化施設が市内にあるが、運営形態はそれぞれ違い、受益者負担の考え方も異なる。1名の正職員と、週3日勤務の臨時職員、あとはシルバーへ委託することにより、人員2名配置をなんとかクリアしているのが当館の運営形態で、受益者負担も開館以来行っている。効率性は他の類似施設と比較し、きわめて高いといえる。
-----	---	---------	---